



夏休みお盆時期の交通事故防止 ～ゆっくり走ろう安全大島～ 大島警察署

8月は帰省やレジャーなどで車を運転する機会が増え、交通量も増加します。この時期に多いのがスピードの出し過ぎや、過労運転、居眠り運転による重大事故です。
事故防止のポイント

- 安全な速度で歩行者や自転車を守りましょう
 - ・高齢者の道路横断が多い大島郡内では、安全速度でいつでも止まれる速度で運転する
 - ・子供の道路への飛び出しや自転車を見たら特に注意する
- 状況に応じて速度を落としましょう
 - ・カーブが連続する郡内の道路では、速度の出し過ぎは禁物です
 - ・夜間、雨天時は特に速度は控えめにして慎重な運転を
- 過労運転は絶対にやめましょう
 - ・車での帰省やレジャーはゆとりのある計画を
 - ・定期的な休憩、眠気を感じたら休憩を
 - ・運転をする前には体調をしっかり整える

周防大島におけるNPO活動やコミュニティ活動など、町民活動団体の支援やネットワークづくりなどによる民間主導の新しいまちづくりを目的とする「町民活動ネットワークセンター」の設置に取り組んでいます。

現在、ネットワーク拠点の役割・機能・運営方法について具体的に検討するための「周防大島町民活動ネットワーク

周防大島町に 町民活動ネットワークセンターを

ークセンター設置検討会議」を立ち上げて、平成18年度の開設を目標に準備を進めていきます。町民活動関係者など、一緒に取り組んでいただける方を募集しています。

■問い合わせ／周防大島町町民活動ネットワークセンター設置検討会議事務局
NPO法人周防大島自然体感クラブ内
☎0820(77)2123



第1回

来るべき地震・津波を知る！
東南海・南海地震発生！
そのとき周防大島町は？

近年、各地で頻繁に大地震が起り、建物倒壊や津波などの深刻な被害が発生しています。周防大島町は、東南海・南海地震防災対策推進地域に指定されており、東南海・南海地震の際には、震度6弱の揺れが発生し、2メートルを超える大きな津波が来襲すると予測されています。

町としても新しい地域防災計画の作成をはじめ、様々な防災への取り組みを始めています。7月15日には山口大学三浦房紀教授、村上ひとみ助教授をお招きし、「安心して住まうための防災セミナー」を開催しました。みなさんもぜひ身近なところから防災に目を向けていただきたいと思います。



山口大学工学部
村上助教授

「地震でケガをしないために住まいの安全・耐震診断のすすめ」と題して、地震時の住まいの安全についてご講演いただきました。最近の地震災害のときの被害をもとに、家庭内の身近な安全対策と地域の備えについてお話をいただきました。

【講演概要】
山口大学工学部
副学部長 三浦教授

「周防大島町で考えられる地震・津波被害について」と題して、来るべき東南海・南海地震で予測される被害を中心に講演いただきました。また、かつての事例から、災害を「正しく知って、正しく恐れ、正しく行動する」ことの重要性についてお話をいただきました。